夕刊
磐城新聞
三月十三日發行
定價 一ケ月金六拾五錢
發行所 磐城新聞
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇六・五五八五番

天氣豫報 小名濱測候所觀測
今晩も明日も北西の風晴

△淺野長矩吉良義央を傷く（元祿一四）△五ヶ條の御誓文降る（明治元）△靜岡縣持越鑛山發火四十數名死傷（昭和一二）△ヒ總統墺都入り（同一三）
3月14日

歐米ところどころ (13)

長久保俊夫

心やすきバスの旅路よ見も知らぬ
とつくに人とも共に語りき

道は平らで眞つ直だ。アスファルトの舗裝が行届いて居る。時速六十哩位は出して居るらしい。午過ぎ、はオレンヂ畑を過ぎて不毛の沙漠地帶へ入り、砂礫の燒野原を東にひた走る。[illegible]にはあらうが、空氣が乾いて居る、てそれ程暑苦しくない。は食事時には三十分程、その合間には一回宛十五分位驛亭の前に停る。その間乘客は車を降りて足腰を伸ばし、腹拵へをし、又咽喉を濕ほす。アメリカの乾燥して居るので何處へ行つても水が甘い。食事の時に水許り飲んで居つて蛙の樣だと、フランス人に惡口を云はれても、水を飲まないでは居られない。殊に沙漠地帶は眩い太陽の光線で眼を痛めない事と、水を充分に飲む事とは、第一に心しなければならないのだ。

熱風に追はるる如く降り立ちて
冷き水をむさぼりて飲む

春先には樣々な仙人掌が色美しく咲出でて道行く人々の眼を娛しませると聞いたが、時ならぬ今では望む由もない。午頭は遙か北方にシーラネヴアダ山系の響きであらうか、白雪を頂いた山々を望み見たが、此のあたりの山は北も南もあか黒い禿山で、おまけに焚火のあとの樣な黒い熔岩が所々に堆く見る。世におそらく殺景風な眺めではあつた。

行きゆけど燒野の原は果しなく
草追ふ[illegible]

かくて夕刻コロラド河に近いとある寒村で夕食を認める。河畔の景色を見て僅に慰む。

コロラドの流れにそふか一筋に
綠の帶のなが〳〵と見ゆ

上流にかかつた鐵道橋はタイドアーチと見た。

コロラドの流れのあたりたそがれて
河のおもてぞほの匂ひける

此の河の奥には世界一と稱するボールダーダムがあり、又音に聞えたグランドギヤニオンの大溪谷もある

弔牛塚平局長

孫雲 小野務平

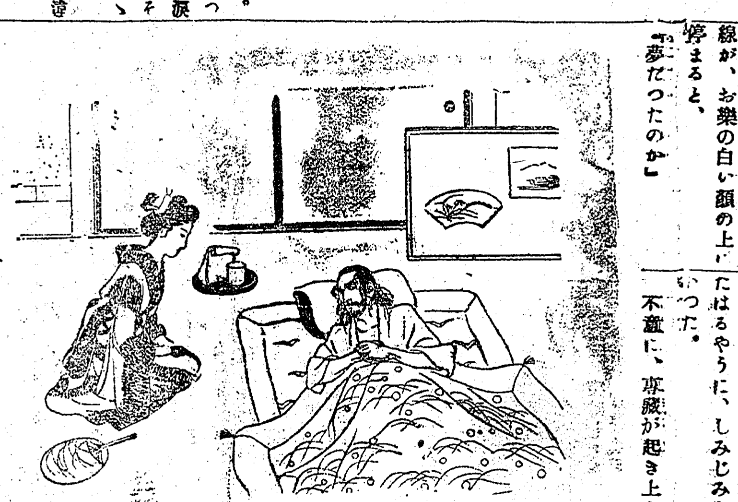
欽仰多々益辨才
快刀一下亂麻開
時報[illegible]鐘聲急
底事高人去不回

恩讐無道 (49)

久我莊多郎
香川三十代畫

『天の巻』
流れ雲（十九）

『うウむ』
專藏が、かるく呻いた。
お藥はハツとして、いつか頰を傳つて流れてゐた涙を、あわてゝ拭ふと、いそいで專藏の傍らへ身をすゝめた。
何か、夢を見てゐるに違ひない
『うウむ……うウむ』
と、絕え〴〵に呻くのである。額に、汗をにじませてゐる。
『御門さま』
お藥が、我慢なり兼ねるといふやうに聲をかけた。
『確かりなさいませ。御門さま、確りなさいませ』
『あゝッ』
專藏は、熱ににごつた目を見開いた。空虛にあたりを見廻してゐたが、その視線が、お藥の白い顏の上に停まると、
『に夢だつたのか』
と、ほつとするのである。
『なにか、惡い夢でも見ていらつしたのではございませんか。さつきからお苦しさうに、呻いてゐらつしやいましたが……』
『さうだ。夢を見てゐたのです』
と、うなづく聲はさびしい。
『それも不吉な、會津の陷ちた夢を見てゐたのです』



『會津の?』
『鶴ヶ城の天守閣が、さかんに火を吹いてゐるのだ。幕臣最後の一戰も、遂に利がなかつたのだ。恩顧を知る者は、血みどろになつて働いてゐる。わたしはそれをどこかの山の上から見てゐるのだ。わたしも戰さのくわ中へ飛び込まうとするのに、どうしても足が動かない。わたしはいら〳〵した。が、どうしても足が動かない』
『でも、夢だつたので、よろしうございましたわね』
お藥は、專藏の心持をいたはるやうに、しみじみといつた。
不意に、專藏が起き上らうとするのである。お藥は驚いた。
『ま、どうなさいます?御門さま……』
『かうしてはゐられない。わたしは、會津へ行くのだ。會津へ行かねばならない。死に遲れては、生耻晒すことになる』
氣力のない足を踏ん張つて、專藏は血走つた目になつてゐる。
お藥はおろ〳〵聲だつた
『そのお體で……そんな御無理なことが出來る道理がございません。癒くおなりあそばしたら、きツとわたしが、會津までお連れいたします』
いろ〳〵になだめて、すかして――やツと、もとの病床へ横にした。
『ねえ、御門さま御全快なさいましたら、どこへでもお連れいたします、お伴いたします。どうぞそれまで、お藥を飲んで御養生專一にあそばしませ――はい、お藥……』
枕許の藥袋から、白い紙包みを取出して、それに水を添へた。
『濟まぬ、あなたには、何かとお世話ばかりかけて……』
專藏は江戸以來自分のために不思議とよくしてくれるこの女に、何の不安も危險も感じてゐなかつた。けれど、その藥がたゞ專藏の疲勞を癒すための良藥だつたらうか?
名の知れない病狀なのだ全身のけだるさは、何かの中毒症と思へる。そればかりか、お藥の差出す藥を飲みはじめて以來、日に日に衰弱する專藏なのだ。
これこそ、お藥の苦肉の策だつた。會津へ行きたがる專藏を引止める方法は、この南蠻渡りの藥を用ひるより道がなかつたのである。さてこそ、さつきのお藥の淚はこゝにその理由があつたのだ。

古河黑耀吟社句屑（三）

○早春の日を浴み飽かず耕せり　九里秋丘
○早春の湖平らかに棹ざせり　同人
○雪殘る畦の薬鴨らし風去れり　金成上鶴
○菜の花の甘き香に醉ひバス待てり　同人
○菜の花に潮風冷ゆる雨來けり　同人
○早春の松に鳥ゐて雨寒し　同人
○春淺き麥の根本の土解けぬ　鈴木好水

島田忠夫近詠集（六）

湯本
○初顏の山本國手とさけくみてほとほと醉ひてをかしきろかも
○君が家の幼き子らの大つむり撫でさすりつつ我れは樂しき

懷郷のうた
○鳥取の藝妓『五郎』に與ふ
○みちのくの磐城平が忘られぬ藝妓五郎をあはれまむかな
○秋ふかき因幡の國の瀧滑に盆踊り唄うたひ居りつる
○磐城びとかなしとおもふ遠國に盆をどり唄うたひ止ます
○旅にして磐城びとなる由六ふみた藝妓してをるはかなしも

うらゝかな春…
御子樣方の樂しい新入學
愈々近づきました
はじめて。セヲウ
ランドセル
はじめて提げる
手提鞄
店內豐富陳列
ツルヤ
電話一四〇

レストラン
サロン
食事 喫茶 酒場を兼ねた
電話五九二番に變りました
平市銀座街

晝夜診療
胃腸性病
內科 胃腸病科 花柳病科 性病科 皮膚科
專門
（[illegible]督看護婦專屬）
松村胃腸性病科醫院
（平市南町電一〇七番）

◇開店御挨拶◇
味覺を本位として、新しい歡びに充ちて生れた山茶は、味通の客―殊に家族連れ―日本料理と壽司とを主としたモダン割烹で御座います。
當店は家族的な團欒を强調し、設備調度は申す迄もなく、店內の雰圍氣を常に明朗にして氣品を高め、潑剌にして秩序あらしめ、これに美食を配して、御客樣が、極めて氣輕に至味三昧に入らんことをモツトーと致し、萬事に心をいたして居ります。
美味無限の山茶!
眞にお客樣本位の山茶!
御家族御同伴の山茶!
これこそ、高らかに産聲をあげた山茶の眞價でございます。何卒御愛顧と御利用下さいます樣切望いたします。
平市仲田町
山茶（つばき）
主人敬白

晝夜診療
外科一般 內臟外科
レントゲン科 泌尿器科
北川外科
血液檢査每日
◎入院隨時
平市新川町（電四六四）
醫學博士 北川芳夫

實用新案 第一八七四三〇號
意匠登錄 第六六一六七號
石山式
石綿ムシカマド
こんな經濟的な『かまど』は他にありません
安價な燃料で濟み、保溫力が强く堅牢で火の元絕對安全!御使用に御便利な!石綿製のムシカマド、近代生活のお台所に是非、たすゝめ致したい新製品で御座います。

和洋銅物金物問屋
平市五丁目
釜屋商店

旅舍
大幸舘
東京上野驛前（下谷郵便局橫通角）
電話下谷⑬六七七七番
私は平市出身ですから特に郷里の皆樣方の爲めに御便宜を圖ります
主人 比佐棟雄

精神病科 腦脊髓病科 神經病科
郡山驛より約三十丁 安積中學より約五丁
內務省指定
福島縣立代用精神病院
郡山腦病院
郡山市外大槻村針生
電話九二五番
入院隨時
院長 醫學士 金森五郎

鑑定項目
名前のみで一代の運命……何んでもわかる
體力（肉體 疾病）（健康、不健康、相貌）（病根病勢、病名）に關する一切
活動（職業 天運）（適業、不適業）（天運、成功、不成功、炎厄）に關する一切
血緣（家族運 男女緣）（父母の緣、夫婦の緣 子供の緣）有無（氣質、相性、相尅、婚期方位）に關する一切
銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、姓名、生兒名
日本姓名學會東北支部長
鵜沼孝昌
平市紺屋町三六

登錄商標
霞城
銘酒
壽
山形市七日町
虎屋酒造店釀造
發賣元
上總屋商店
平市三 電話七三一番

東北の最高酒
登錄商標
金紋
大吟釀
花娘
防腐劑ヲ含マズ
山形縣小松町
嵐山酒造株式會社釀造

月曜論壇

時局と縣議補選

物ごとの如何に拘らず一から十迄悉く反噬相剋の戰線を擴大せねば胸が納まらぬと云つたのが從來に於ける所謂黨人のイデオロギーであつたが、今回の如く各派に於て選擧前に附きものの飯食ひも行はれず、萬幾を秘むる密使の櫛の齒を挽くが如き往復も無く、極めて平穩無事の裡に縣會議員の補闕候補者が決定したのは、時局が些々たる黨同伐異的の小我に蹈跡すべき秋で無い。と云ふお互の極て嚴肅なる心構へが茲にはつきりと投影したものとして顧みて全く一種の心强さを感ずる。而も國成大政黨は姑らく云はず、未だ建設創始の時代に在つて常に燃ゆるが如き所信斷行の前には極めて金剛不壞の不退轉振りを發揮する養正會が日頃の敢爲な戰陣を構へず、恬然とした滿幅の闘志を放擲した態度はまた時代の洞察ト最も賢明たりしもので、之の事は少くとも養正會の標度そのものを大にして將來の活躍に一日の共鳴を獲得せるものと云ふ事が出來やう。一方其の前營を通じ、溫、飯に有りつき度い許りに、事をよき大袈裟ならしむる爲め種々なる手段を以て之を煽り立てる世の所謂選擧ブローカーに對し、時代は何時の間にか之に自滅を辿らしめた事も今日ある所以と見る事が出來る。何れにせよ假令殘任期は殆ど實際的活動の時間を剩されぬ一瞬の短時間とは云ひ乍ら、少くとも縣會議員の選擧に當つて此の程度に靜謐を持し得た事は地方の選擧界に一大進步を齎したものとあり、候補者は勿論多數有權者に於ても此際これが爲に累ひされる事が無く且つ蝸牛角上の闘爭に拂ふ物質時間の節約等如何なる觀點からするも頗る喜ばしい次第である。此上は折角此處迄練つて來た該選擧を最も公正に執行する事によつて、目出度く當龍に精々點する様各方面の教養に俟たんとするものである

高月學園に一新風景

紀元二千六百年記念事業として

正門迄銀杏の並木植樹

兒童の持ち寄つた古新聞紙を賣つて資金とした市內四小學校の一ミリ映寫機購入をはじめ、各方面に於ける奉安殿造營其他明紀元二千六百年の記念事業は夫々機宜の計劃によつて着々行はれてゐるが生徒數共他諸機構の大を以て市、郡下は勿論縣下教育界の王座を占む、磐中では過般來種々考究の結果 學校入口道路より正門に至る二百米の區間に全校生徒により銀杏の並木を植樹する事となり先づ先週を以て學期試驗を了つた最上級現四年生が今明二日間、亘つて之に當るのを手はじめに各自試驗の終了後、於 之の集團勤勞は在校生全部に及ぶ事になつてゐるが、晩春の嫩葉から、盛夏の綠地帶化、秋の黄紅葉など育成後に於ける四時折々の趣きはまさに高月臺上の一新風景たるものがあらうと豫想されてゐる

女師二部 合格

磐女から十三名

本縣女子師範二部の本年度採用試驗結果は此程發表されたが磐女からの受驗者十九名中左記十三名が合格した

鈴木とみ、鈴木壽美子、鈴木靜子、北郷春江、五十嵐松枝、村田良子、三森清子、遠藤芳枝、鴨原みや、矢部初枝、橋本よみ、阿部生子、渡邊せき子

長期戰に即應

銃後奉公會を作れ

擴充强化を期す縣當局

長期建設に即應して地方市町村には現在夫々銃後施設機關があり銃後の活動に寧日ないが縣當局では更に管內全世帶を入會せしめてこれが整備强化をはかり國民皆兵の本義と隣保相扶の道義に基いて平戰兩時を通じ永く活動を續けさせることとなり十一日平、十二日植田の二ケ所で開かれた軍事援護事務主任者打合會に於て『市町村銃後奉公會』の設置促進方を慫慂した、その事業の大要左の如し

兵役義務心の昂揚、隣保相扶と愛鄕心の振作、兵役義務服行の準備、軍人遺家族の援護、勞力奉仕其他家業の援助 弔慰、慰問慰藉、傷軍、身上及家事相談、軍事援護思想の普及徹底

授産事業 料理講習

應召農山漁村に對する授産を目的に明十四日から二日間平第二校に兎、豚肉加工講習會が開かれ國婦、女子青年團らの受講を歡迎、講師は縣の小林基氏

△十四日午前十時ー午後二時講演實習△十五日午前九時ー午後四時實習

諏訪神社 大祭

奴祭で有名な渡邊村釜戸鎭座の諏訪神社春季大祭は舊正月二十七、八日（新三月十七、八日）の二日執行、武運長久、國威宣揚鬪中鎭の大祈願をなすと共に出征、入營兵のため彈除身体安全の御守一体宛を進呈、更に水戸芝居を餘興として催すなど社務所ではこれが準備に忙殺されてゐる

嫁の賣れ口良く

交換孃志望者減少

客臘來の退職十一名

平局の電話事務員採用試驗は愈よ近く執行さるゝが要員二十四名の採用に對し志望者に僅かに約二倍の五十名に過ぎず 曾て少きも數倍、多きは十倍もの志願者があつた當時に比し、甚だしい減退を見せ隨つて試驗の突破も著しく平易になつたわけである。右は時局柄妙齡の子女が他方面に適當の職場を發見し易くなつたせいもあらうか、未婚の青年階層が軍需インフレの波に乘つて容易に妻帶の資力を造り相配を求むる事が從前より頻繁になつたのも其の一因と見らるるは同局の電話事務員中結婚の爲めに退職したものが客臘中より現在へかけ實に六十餘名中十一名の多きに上る事實に徵しても蓋し思ひ半ばに過ぐるものがあり、さてこそ其の補充に惱む所以とされてゐる

四柱を祀る

十九日の內鄕村葬

歩兵伍長齋藤又二、輜重兵上等兵立花丑之、歩兵一等兵佐藤第五、特務二等兵岩崎森三郎

右四靈に對する內鄕村葬は

未來のゼネラル

磐中から二名合格

時局意識に燃えて將來のゼネラルを目指す少年二人。磐中二年生松本榮一（平市）同一年鷲一男（錦村）君の兩君は過般執行された陸軍幼年學校生徒採用試驗に應し、見事難關を突破して合格の榮譽を獲得、全磐中に凱歌が揚つた

優良船主と船長を表彰

廿三日小名濱で

縣漁業組合聯合會では來る二十三日午前十時縣水産試驗場に於て昨年度における漁業成績が優秀だつた

△沿岸漁業＝小名濱町柳內房吉氏所有共德丸船長伊藤房衞氏

△遠洋漁業＝江名町佐藤助五郎氏所有濟勝丸船長吉田留吉氏

等の船主と船長とを表彰することに決定、當日は縣から岩瀨水産課長が臨席する

來る十九日午後一時から同村第二小學校に於て執行盛儀を豫想されてゐる

草野村葬

草野村出身工兵軍曹阿部德榮君の村葬は來る十九日午後一時から同村小學校に於て執行すると

中堅農者 終了式

石城中堅農民長期講習は過般來平園体事務所神谷村農事試驗分場に開いてゐたが昨十日を以て終了し來る二十一日平園体事務所に修了式を擧行する

トミ子 松本エイ子 松崎カツヨ 可悅子 阿部トヨ 佐藤つよ子 佐藤ミツヨシ 佐藤みさき 酒井チル子 三瓶トミ子 澁谷いさみ 鈴木キミ 鈴木トヨ子 鈴木キン 鈴木クニ子 鈴木キミ 計六十九名合計一一一名

平産看校第卅三回卒業式

明後十五日擧行

市內南町平産婆看護婦學校第三十三回卒業式は明後十五日午後一時から擧行するが卒業生次の如くである

（産婆科看護科兼修）新妻澄子 富森智惠子 千葉照子 大方ミキ 大竹菊代 大內ミネ 渡邊百喜枝 若林喜美子 藥谷ヤイ子 渡邊タネ子 梶ミツ子 金成美千子 吉田イチ 吉田千佐子 横山シマ子 高橋ムラ 永山キヨ 草野ムラ 久保木芳子 草野スワ子 草野アキ 柳田梅子 國分ツヤ子 阿部美津子 淺野興志 靑木キミ 坂本フミ子 佐々木ヨシ子 木田恒子 柴崎綾子 鈴木キミ子 助川エイ 鈴木マサ子 鈴木スズヨ 須藤タツ子 鈴木愛子

（産婆科）伊藤美好 岡田たか 賀澤千代 薄葉靜子 酒井ちゑ子 鈴木政子

（看護科）五十嵐ミヨ 新妻英子 星滿智子 堀好江 小貫マサ子 掃部關澄子 菅野チヨ子 高橋マサ子 永山ハルヨ 村山サクヨ 薄葉ケネ 野崎キミ 草野克子 國井スミ 山崎ヨネ子 柳內サイ子 矢吹幹枝 松本た

校長後嗣 令閨出動

濟野校長後嗣平職業紹介所員勝利氏令閨いと子（舊姓澁谷）さんは今回福島支部救護看護婦長として再度の勤務に服する事となり乳呑兒を殘して來る十七日午前十一時十分で某方面に出發するが、いとさんは遲ればせ乍ら時局のお役に立たせて頂けますことを感謝し喜んで懸命に働きますと健氣な覺悟を洩らしてゐた

新入學の――お子さん宅へ

父兄の心得に就いて

篠山第一校長のお話

お宅の可愛いお子さんの入學期も愈よ迫つて參りました。入學と云ふ事は、お子さんにとつて一大事件であるばかりでなく親さんとしても一家としても、まことに意義の深い事で、大に祝福すべき事だと思ひます。さて、この喜びを如何にして迎へ、又準備してやることが最もお子さんの幸福であるか、一つ考へてやつていただきたいと思ひますのでこれからお預りする學校としての希望を述べさしていただきます。

一、お子さんの姓名

他から聞かれたら、正しく、はつきり答へられる様に知らして置いていただきます。いやにはにかんだり、くす／＼したりすることは多數の方を取扱ひます場所では最も困ることでございます。尙は出來ますことなら正しく、はつきりと書ける様にして置いていただけば結構この上もありません。

二、兩親の姓名と住所

家長の方の姓名と住所まで答へられるやうにして置いて下さるとお預りした直後何かと便利なことが多いのでお子さんのため好都合でございます。但しこれ書ける必要はございません。

三、持物整理のしつけ。

自分の持物の整理をつけるしつけをして置いていただきたいものです。玩具のかたづけ、學用品の整頓、衣服の始末、たとへば重ねる、包む、入れる、結ぶ、着ることの練習

四、持物の認識

初めの內は自他の區別が混同して遺留品が出來たり、紛失物が出來、其都度困らせられますので、自分の持物をはつきり知らして置いていただきたいものです。

（續く）

國債第三位

仙台、靑森に次ぐ

同局に於ける既往七回の事變國債消化高は三十四萬二千九百三十五圓で仙臺、靑森に次いで第三位、貯蓄債券七千六百六十圓は配當が少かつた結果十三番の低位にある

平市去月中の戸籍

市役所去月中の戸籍取扱ひは（カツコ內寄留）△出生七九（二五）△婚姻三〇（四）△死亡三六（一〇）で其他を合し二百二十九件、本籍百八十八件、寄留四十一件である

貯金が殖える平局

東北地方で第一位

常に局員を總動員して國民貯蓄の國策に沿うべく努めてゐる平局の昨年四月以降去月末迄の貯金狀況は

預入一〇、〇三八〇一七四、七〇一圓、拂戾一、八三四〇一三一、六二〇圓、差引增四三、〇八二圓

の躍進振りを見せ、尙は同年七月より十二月に至る下半年分の增加狀況二十三萬五千七百二十八圓は昨年より二倍の增加率で實に東北地方主要局中の首位を占めて居る（自四月至一月純增累計四三二、四七九圓で之亦第一位）

宍戸君喪の凱旋

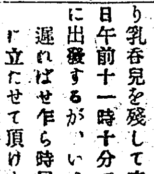
前線で散華した湯本町入山炭礦從業員宍戸賢治君は昨十二日午後六時四十七分湯本驛着で喪の凱旋

片寄君本社入り

いはらき新聞平支局片寄一二君は今般本社勤務となり十六日午後零時四十九分平發赴任

特高課長講演

入山では昨十二日午後一時から自治會館に藥袋特高課長、本田平署長を迎へ銃後生活刷新の講演をきいた



舊一月二十四日　新三月十四日　火曜　亥戌　赤口　危　室宿

▲一白 內には穩なれども外には不信を招ぎ易き日▲二黑 平凡の如く見ゆれども根氣次第利得ある日▲三碧 先を見込での賣買には失敗に陷入り易き日▲四綠 初めは運氣弱けれども次第に吉と成るべし▲五黃 內輪もめさへなければ自ら發展し行べき日▲六白 自重して進めば大吉なり婚約き業皆成べし▲七赤 引立てに逢ふて昇進すべき日名弘入學皆吉▲八白 事業せんたくに苦しむ日急ぐ時は不覺を採べし▲九紫 目上の奔圖なうけて働けば大吉と成べし

遠藤師獻金 市內九品寺住職遠藤心光師は金二圓を海軍恤兵金として市役所へ

平市慶弔錄

△出生 本籍仲間町愛知縣依佐美村廣田德三郎氏三男修君、鍛冶町熊谷榮一氏長男貴一君、鎌田町佐々木市太郎氏三女ヨシちやん

▲死亡 本籍白銀町群馬縣東村內川芳子さん（三）

十四日（小名濱測候所發表）　滿潮 前 九、二五　干潮 前 後 六、三〇

廣告

酒トマヅイ たでんの 榮ちやん 平市田町花ノ里 電話三三番

玉屋眼鏡店

乗合自動車女子車掌十名募集
十五才以上十八歲以下尋卒以上
採用の上は二週間見習の上本給を支給す
但し見習期間中手當及び制服を支給す
希望者は午前八時より午後四時迄御出を乞ふ
平市 野崎自動車合資會社

父江口清儀病氣療養中の處藥石効なく今朝四時七分死去仕り候間此段紙上を以て御通知申上候
追つて送葬の儀は來る十五日午後二時自宅出棺海岳寺に於て佛式により相營み可申候尙時局柄弔旗供物花輪等の儀は御辭退申上候
昭和十四年三月十三日
四倉町
男 江口伊六
　 江口軍二
親戚總代 鈴木唯治
友人總代 堀江新太郎
萬年瓦工業株式會社

中風・血壓昂進・動脈硬化・高血壓・神經衰弱に
プロナフン
◎高血壓は生命を脅威す
平市田町 阿部藥舖

明朗聽取
日本放送協會が指導製作
HK型ラヂオ
東北六縣同一値段 現金 ¥50.00 月賦 ¥53.00
販賣申込所 富永ラヂオ店 電四九六番
古山ラヂオ店
各郵便局

病室・手術室完備
産婦人科 醫學博士 五十嵐雄二
（物理療法科併置）（入院隨時）
平市新川町（電話三六九番）

産婆看護婦生徒募集
校舍新築
一、生徒實習室完備
一、寄宿舍自炊の便あり
修業年限一ケ年
石城産科看護婦學校
校長 鷹崎千代
新學期開始 四月四日
平市揺槌小路（舊一町目）
電話三五七番